

平成27年度 入学式式辞

うららかな春の陽射しが出雲平野に優しく注ぐ本日、このように多くの保護者の皆様のご出席のもと、平成27年度入学式をかくも盛大に挙行できますことは、私ども教職員一同、大きな喜びとするところであります。

また、ご多用の中、同窓会・耕魂会会长 古川君和 様、PTA会長 塚本功治 様はじめ、多数のご来賓の皆様方にご臨席を賜りましたことに、高いところからではございますが、深く感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可しました160名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。出雲農林高校の在校生、教職員一同は、みなさんの入学を心から歓迎します。

本校は、昭和8年に島根県立今市農業学校として創立され、一昨年創立80周年を迎えた伝統ある農業高校であります。また、県内唯一の農業専科の高等学校であり、まさしく島根県の農業教育をリードするリーディングスクールであります。その一員となる新入生のみなさんには、誇りと自信を持って日々生活をしていただきたいと思っております。

本校においては、「耕魂 育命」を校訓とし、生命を育て、自らの魂を耕す「魂の教育」を旨としております。様々な課題を抱える昨今の学校教育ではありますが、教育の最も根幹をなすのは「心の教育」であります。その点においても本校は常に教育の原点と向き合う教育を行っております。

今、入学生のみなさんは、夢と希望を胸に、初めての高校生活に大いに期待をしていることと思います。出雲農林高校は、そんな皆さんのが夢と希望を叶える学校を目指しております。Find your potential and dreams!（見つけよう、君の力の可能性!）本校は、みなさんの可能性を信じ、基礎基本の徹底、専門性の向上、実践力の育成を図るため、様々な学びの機会を提供します。

しかし、全て学校任せでは、みなさんの夢や希望は叶いません。そこで、みなさんに、入学に当たり二つの事をお願いします。

一つ目は、「汗をかく」ということです。

「美しい虹を見たければ、少々の雨は我慢しなければなりません。」何かを手に入れたければ、汗をかくしかないのです。今日の汗は、明日の喜びに確実につながっています。

二つ目は、「チャレンジをする」ということです。先行き不透明な今の時代にあって、最先の損得にこだわっていては、自己の可能性を大きく広げることになりません。今は必要ない、役に立たない、無駄なことだ、そう思っていることも、いつ、どこで、どのように役に立つかわかりません。Seed the future! 「未来のために種をまこう！」種をまかねば花は咲きません。この三年間に、学習においても、部活動においても、また学校行事においても、様々なチャレンジをしてください。一体どんな花が咲くのか、まだ見ぬ新しい自分に出会えることは、この上ない驚きと喜びであるに違いありません。

新入生の保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。本日のお子様の姿に、感慨いかばかりかと拝察いたします。私どもに寄せられている大きな期待をしっかりと受け止め、教職員一同、一丸となって努力して参ります。

申すまでもなく、お子様一人ひとりの健やかな成長のためには、学校・家庭、相互の信頼関係は欠かせないものであります。どうか本校の教育活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜りますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

最後になりましたが、新入生の皆さんとの三年間の高校生活が楽しく、実り多きものになることを心から祈念し、式辞といたします。

平成27年4月9日

島根県立出雲農林高等学校長 佐藤睦也